

昭和55年

7月

第215号

咲きそろう花しようぶ

白・赤・紫など四十万本以上の花しようぶ
が二音に咲きそろい、見物客に花しようぶ
の美しさを堪能させていました。

あに

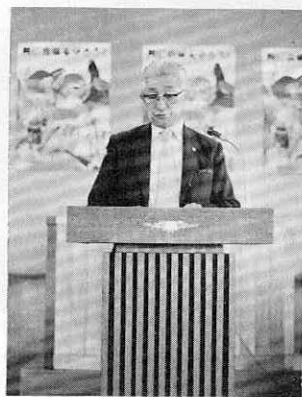
編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県雄物町中央印刷所

良質材の生産をめざして

森林総合整備事業

六月定例町議会

町長行政報告



六月定例町議会が六月二十五日、二十六日の二日間開かれ、町長の行政報告がありましたので、かいつまんでお知らせいたします。

健康管理施設

九月末オープン予定

建設中の温泉利用の農業者健康管理施設は、工事も順調に進み、現在、七割の出来高で、八月末完成の見込みです。

近く関係部落などと今後の運営について話し合い、住民の利用を主眼においた地域の利益、町の利益を考えた運営をするための具体案を作成する予定です。農村環境改善センターは国の公共事業抑制のため予算配分が思うようにいかな

い面もあるが、出来るだけ早く完成できるように努力したい。

転作は

目標達成の見込

水田の転作については、昨年度三十三ヘクタールの割当に対し、五十一ヘクタールの実績でその達成率は一五四・五％となった。

今年は四十八ヘクタールの割当に対して、現在、六十四ヘクタールの申し込みがあり一三三・三％の達成率となる見込みです。

転作物は、飼料作物、大豆、ソバ、アワなどとなっている。転作についてはなかなか困難な面も多く、一朝一夕に解決できる問題ではないので、今後は、一、作付栽培指導の強化

二、転作田の汎用化を図るための排水対策
三、収穫物利用の高度化（収益性の向上）
などにより転作の定着化を図る。

当町に対する米の限度数量は、うるち米一万五千八百十二俵、もち米百一十一俵で昨年度に比較して四・六％の減となっている。これは、転作面積の配分増による落ちこみです。

昨年度から森林総合整備事業の指定のため、森林組合と準備作業を進めてきましたが六月指定が決まり、現在、事業の五ヶ年計画と五十五年度の計画を作成中です。

災害復旧費

農業関係 千百万円
十二ノ沢川 三億円

去る、四月六日の大雨と融雪により農業用水路六ヶ所、農地一ヶ所が被害を受け、これらの復旧に要する工事費は約千百万円の見込みです。
また、林道四ヶ所、公共

土木施設災害は河川、道路あわせて十一ヶ所で災害が発生しましたが災害復旧のため国庫負担の申請をして県による現地査定を終っています。特に被害の大きかった十二ノ沢川については原形復旧のみでは二次、三次災害の危険もあり、延長一、二Kを全面改修しなければならず、復旧費も最終的に三億円にもおよぶものと考えられるので県で復旧工事を行なうように現在協議中です。

春山スキーに 四〇〇余名参加

四月十三日から八日間の日程で開設した、森吉山春山スキーは町内外から四百余名の参加者でした。
また、会期中には大型スキー場建設に対して、進出を希望している民間企業による現地調査も行われました。

一中にテニスコート

阿仁合小学校の土俵上屋根工事は、すでに発注も終り建設中です。
また、第一中学校の玄関増築工事、校庭舗装工事は夏休み期間中に工事を行う予定で設計委託をしています。舗装した校庭には簡易テニスコートを作る計画であります。

定例町議会で決った主な事項

■専決処分報告

次の六つの専決処分報告がありました。専決処分とは、法律の施行期日とかその他の都合で議会招集のいとまがない場合は、議会の議決を経ないで町当局が専決処分できるという自治法の規定に基づく措置のことです。

- 五十四年度一般会計予算補正
町営住宅を十戸建設する予定でしたが、五戸より建設しなかったため、八百四十六千円減額になり、一般会計の最終予算額が二億五千五百七十七万五千円になりました。
- 五十四年度国民健康保険予算補正
療養給付費の国庫負担金の増額に伴ない、国保会費が二百三十二万円増額になりました。
- 五十五年度一般会計の予算補正
福祉バス購入費が増額になり、一般会計が百万円増額されました。
- 五十五年度阿仁合財産区会計の予算補正
五十四年度の阿仁合財産区会計決算で、一千四百八十九万九千円の不足が見込まれるため、これを五十五年度で支払うこととなり、その分増額になりました。
- 衆院、参院同時選挙費用九十七万円を増額
衆議院、参議院議員選挙が六月二十二日同時に行なわれたため、参議院議員選挙費が五十五万一千円減額、衆議院議員選挙費が百五十二万一千円増額されました。
- 町税条例の改正
地方税法の改正に伴ない町税条例の一部が改正になりました。
- 町道路線の認定
次の三路線が新しく町道に認定されました。
打当内支線 延長二・〇m 幅員二・〇m
萱草地蔵谷線 延長一・六五m 幅員五・〇七・〇m
下小椋線 延長一・六〇m 幅員三・五m
- 一般会計七千九百四十六千円の増額
町の一般会計予算が七千九百四十六千円増額されました。
この結果、一般会計は総額で二億四千三百三十三千円となりました。
主な事業は次のとおりです。

- △開発センター前舗装工事 六百五十万円
- △農業者健康管理施設備品購入外 八百七十一万六千円
- △肥育畜舎、飼料庫建設 一千二百七十五万五千円
- △観光用くさり大会費 四十八万円
- △幸屋線改良舗装工事 五百万円
- △簡易水道特別会計予算六十四万円の増額 一千二百五十六万六千円
- △簡易水道特別会計が国道改良工事に伴う移設工事分として、六十四万円増額になりました。
- 戦後強制抑留者補償に関する意見書提出に同意
※次の議案については、審議に審議する必要がある、ということで総務財政委員会に付託になりました。
- 阿仁町職員定数条例の一部改正について。
- 阿仁町教育委員会事務局職員等定数条例の一部改正について。
- 阿仁町立診療施設職員定数条例の一部改正について。
- 阿仁町過疎地域振興計画（前期）について。

小畑勇二郎先生を迎えて

商工会20周年記念商工会員大会

七月十一日、山村開発センターにおいて、商工会法施行二〇周年記念式典並びに商工会員大会が関係者約二百人が出席して開かれまし

た。伊藤商工会長から、複雑多様な情勢の中で「地域づ



(講演中の小畑勇二郎先生)

くり」という大きな課題をかかえ、これからの商工業者は個々の目先だけでなく、「新しい町づくり」のために法の基本目的を再認識して、地域全体の発展を求めつつ、新しい時代に対処していかなければならないとの挨拶があり、このあと、小畑勇二郎秋田経済大学理事長を迎え「八〇年代地域に望まれる人間像」をテーマに講演が行なわれ、先生は二十四年間の知事としての経験と実績から幼児教育の大切さと、核家族化にともない家庭教育の重要性を話されていた。

式典において、永年にわたり商工会の発展に功績された団体、個人に対して感謝状および表彰状が授与されました。

○阿仁町長表彰者

国民金融公庫大館支店

秋田銀行阿仁合支店

○秋田県商工会長表彰者

小武海芳雄、渡部武治郎

高田正七、山田利一、伊藤国夫、田村駿一、木沢六太郎、魚住金治、上杉豊造、八田喜一郎、近藤直三、菊地忠雄、庄司松雄、辻山江、佐藤進、三杉有三、伊藤四郎

○阿仁町商工会長表彰者

加賀谷広、山田賢三、鈴木憲庸、山田直治、松橋

キン子、伊藤とも子

長畑、幸屋

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

が完成しました

調査

地籍簿、地籍図

工事入札

▽萱草線改良

二百二米、巾六、七米

工費 五百八十万円

施工 上杉組

竣工 九月三十日

▽五四災熊鷹林道災害復旧

延長 百十米

工費 三百五十一万円

施工 田中組

竣工 九月三十日

▽湯口内線跨線橋高欄補修

工費 三十二万五千円

施工 古河土木

竣工 七月三十一日

▽防火貯水槽

場所 笑内地内

規模 四〇立方メートル

工費 二百三万円

施工 中嶋土木

竣工 八月二十日

場所 幸屋渡地内

規模 四〇立方メートル

工費 二百三万円

施工 中嶋土木

竣工 八月二十日

場所 幸屋渡地内

規模 四〇立方メートル

工費 二百三万円

施工 中嶋土木

竣工 八月二十日

場所 幸屋渡地内

規模 四〇立方メートル

工費 二百三万円

施工 中嶋土木

竣工 八月二十日

場所 幸屋渡地内

陳情・請願

定例町議会に次の陳情、請願があり採択されました。

○戦後強制抑留者補償に

して政府に意見書を提出し

てほしい(全国抑留者補償

協議会阿仁支部長高橋正)

○町工事を阿仁合建設技能

組員に発注してほしい(

阿仁合建設技能組合長三杉秀夫外)

▽公共建物の出入口にスロ

ープの建設と身体障害者用

トイレを設置してほしい(

阿仁町身体障害者厚生協会

々長三浦松治郎)の請願は

教育民生委員会に付託され

ました。

▽また先の議会で委員会付

託されていました。松森ス

キー場にロープ塔建設につ

いての請願はゲレンデの拡幅及び用地の取得について充分検討することで採択になりました。小様トンネルの新設についての請願は地域住民の生活の安定、交通安全確保のためにも必要であるため採択されましたが古河林業KKの私道開放については慎重に審査する必要がありますため、結論が次の町議会まで延期になりました。

五十三年度に国土調査が行なわれた、長畑、幸屋の一部が国土庁の審査の結果三月三十一日認証され、登記所に送付済でしたが、このたび次の地域が登記済となりましたのでお知らせします。

◇阿仁町長畑宇

長畑、羽立、与吉野、

◇阿仁町幸屋宇

様ノ下、佐山沢、比ノ

沢、熊鷹沢、倉之助沢

向沢、小沢、ウドウ、

宝附。

これにより、この地域の

関係者の方は登記替えが可

能になりました。

また、図面、地籍簿は登

記所及び税務課に保管され

ていますのでご利用くださ

い。

検診でなくそう

脳卒中

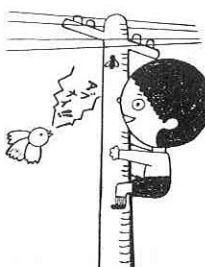
脳卒中の一番の要因は高

月	日	受 付 時 間	診 療 場 所
9月1日 (月)	午前9時から11時まで 午後1時から2時まで	大阿仁支所前	
9月2日 (火)	〃	〃	
9月3日 (水)	〃	開発センター前	
9月4日 (木)	〃	〃	

◎月20日までに役場、支所の窓口へ申し込みください。
◎料金は 500円です。(受付の際納入)

◎月20日までに役場、支所の窓口へ申し込みください。

◎料金は 500円です。(受付の際納入)



感電事故に注意

夏休み中の児童、生徒

- 一、高い所での作業や長物を扱うとき、電線にさわるとおそれはないか、クレーン車のアームやダンプカーの荷台の動く範囲に電線はないか確認しよう。
- 二、電柱にはのぼらない、変電所には入らない、切れた電線にはさわらない、等夏休み中の児童の感電事故には充分気をつけよう。
- 三、ストッカー、自動販売機には必ずアースを取付けよう。

交通安全運動

4日(月)までの10日間



送り出すときは笑顔で

シートベルト・ヘルメット着用の推進

- 各種講習会、研修会等を通じてシートベルト着用の促進を図る。
- 「モデル事業所」「モデル路線・地区」の指定をすすめ、事業所、地域ぐるみで着用の推進を図る。
- 「シートベルト着用指導所」交通検問・交通監視等、街頭活動による指導を強化する。
- シートベルト着用の効果等について広報に努める。
- 自動二輪車、原動機付自転車利用者に対するヘルメット着用を指導する。

暴走族の追放

暴走族対策の総合的推進

- 家庭、学校、地域、職場等が一体となって「暴走しない、させない、見に行かない」の三ない運動を推進する。
- 暴走族追放のため地域ぐるみで総合対策を推進する。

暴走族取締り等の強化

- 暴走族に対する取締りを強化するとともに保護者、学校、職場等と連携し、その再犯防止を図る。
- 家庭、学校、職場等での自動車の健全使用の指導を強化する。
- 暴走族の集合場所として利用されやすい施設等から暴走族を締め出す措置を講ずる。
- 暴走行為を助長する不法改造、部品の販売等を行わないよう関係事業者の指導を強化する。

歩行者に ゆずる車に 事故はなし

無事故マラソン

ゴール寸前

すでに三地区脱落

昨年の夏から始まった「無事故競争マラソン」は、ゴールインまであと一ヶ月を残すのみとなりました。この間、各地区の懸命な努力にもかかわらず、六月末現在で三人の違反者が出て、三地区が失格となってしまいました。

ゴールまであとわずかです。残り四地区が無事故でゴールに到着するのが期待されるところです。



広報活動の推進

この運動を効果的にすすめるため、関係各機関団体は、各々の立場で創意工夫をこらし、地域に密着した次のような広報活動を実施する。

- 交通指導車、広報車による巡回広報
- 広報紙、チラシの配布
- 立看板、横断幕等の掲出
- 有線放送等設備の活用
- デパート、商店等の店内放送の活用
- 交通事故写真展、映写会等の開催
- 報道機関に対する協力の依頼
- 行楽地での街頭広報

重点目標

- 子供と老人の交通事故防止
- 無謀運転の防止
- 暴走族の追放
- シートベルト、ヘルメット着用の促進

子供と老人の交通事故防止

安全を確保するための環境づくりの推進

- 生活ゾーンを中心に交通安全施設等の点検整備を行う。
- 校庭・空地・広場等を開放し遊び場を確保する。

街頭における保護誘導活動の強化

- 歩行者特に子供と老人の安全な誘導に努める。
- とび出し、車の直前直後の横断をしないよう安全確認の習慣化を図る。

自転車利用者に対する交通安全指導の推進

- 夏休み子供会、老人クラブ活動を通して自転車の点検整備と正しい乗り方を指導する。
- 夜間における明るい衣服の着用、反射シール等の利用を促進する。

無謀運転の防止

運転者対策の推進

- 運転者としての社会的責任を自覚させるため指導教育を徹底する。
- 長時間運転するときは、十分な休憩時間や交替要員の確保に努め過労運転を防止する。
- 車で帰省する家族等に対して安全運転で帰るようあらかじめ電話や手紙で呼びかける。

無謀運転追放気運の醸成

- 「酒を飲んだら運転しない、運転するときは酒を飲まない、飲ませない」の三ない運動を推進する。
- スピード違反信号無視及び覚せい剤・シンナー等薬物の施用による運転等無謀運転の防止に努める。

運転マナー向上等

- 「安全速度」と「十分な車間距離」を保つ等「ゆとりで走ろう運動」十則を励行する。
- 歩行者に対し「いたわり運転」の実践を徹底する。

自転車の点検整備の励行

- 自転車の点検整備を励行する。
- 無車検・無保険車両の運転防止を図る。

安全は 家庭の中から しつけから

夏の全国交

7月26日(土)から8月

◎ 運動のすすめ

夏の交通事故多発期を迎え、すべての県民に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールと思いやりのある運転マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図る。

家庭では「交通安全家族会議とひと声運動」をすすめ県民一人ひとりが交通事故にあわない、起こさないよう心がけ実践する。

当町では期間中、黄色い安全旗を毎日立てることになっています。



とび出しに注意

路上駐車

最近、森吉署管内で買物客が店の前に買物するために車をとめていたため、小学生がこれをさけようとして自転車を道路中央に移動したところ車にはねられるといういたましい事故が起きています。商店の方々は、車で来たお客さんに対して駐車場を知らせるなどして、町内からこのような事故を防ぐためご協力をお願いします。

運転者のみなさんも道路になるべく駐車しないように注意しましょう。

六万人の見物客で賑わう

ミスしょうぶおばこに鈴木幸子さん



ミスしょうぶの鈴木さん(左)
準ミスの高井さん(中)、伊藤さん(右)



(発表前の緊張の一瞬)

今月三日から開催された「阿仁の花しょうぶ祭り」は、町内外から毎日のように大勢の見物客が小沢のし

ようぶ園を訪れて、期間中の入出は、当初、見込んでおりました入出をはるかに、上回る六万人の見物客で賑わい、好評のうちに幕をとじました。

四十万本にもおよぶ色とりどりのしょうぶが一斉に咲き誇り、見物客に花しょうぶの美しさをあらためて印象づけたようです。

また、六日の日曜日には商工会によるミスしょうぶおばこコンテストも行われ、町内から十五人のおばこが出場、審査の結果、ミスしょうぶおばこには幸屋渡の鈴木幸子さん(二四)、準ミスに下新町の高井朋子さん(二〇)、荒瀬の伊藤鈴子さん(二五)が選ばれました。

皆さんよろしく



佐々木阿仁合郵便局長

阿仁合郵便局長の吉田英一(上新町)さんが、六月三十日付で退職されました。新しい局長さんは、合川町の下大野郵便局から来られた佐々木賢二郎さんです。ご家族は鷹巣町にお住いで、当町には単身で赴任されました。

合川町木戸石出身 49才

▽女子八〇〇M

九位 松橋美千代

▽小学校女子リレー

七位 大阿仁小学校

菊地千明、松橋政子

佐藤妙子、佐藤郁子

郡市小中学校相撲大会

▽小学校個人部の部

四位 佐藤 正生 大小

団体の部で全県大会へ

団体の部で大阿仁小学校が優秀校に選ばれ全県大会に出場することになりました(九月)

菊地千明さん優勝

郡市総合体育大会

六月二十六日郡市小中学校総合体育大会が鷹巣広域陸上競技場で開かれ、小学校女子走り幅とびで菊地千明さんが優勝するなど、大阿仁小学校の生徒さんたちがすばらしい成績をおさめました。

なわとび記録会

四月十七日町民体育館において、なわとび記録会が行なわれ、次の方々に認定証が授与されました。(五級以上)

〇五級

松橋智恵美、佐藤真弓、三浦悟、佐藤由美子、

〇四級

柳原光子

〇三級

佐藤瑠美子、中島裕、加

あなたの国保(4) 高額療養費の支給

同じ月内に同じ病院や診療所に、ひとりの被保険者が三万九千円以上の自己負担額(医療費の三割)を支払った場合は、三万九千円をこえた額は、全部国保が負担して、あとから払いもどされます。具体的には次のとおりです。

一、支給額
一つの病院や診療所に、

支払った額から三万九千円を差引いた額。ただし、差額ベッド代や歯科の差額診療など、保険診療外のものには対象になりません。

二、自己負担額計算の基準
①一日から月末までの受診について一ヶ月として計算します。

②病院、診療所ごとに計算します。

③同じ病院でも、内科(内科や外科など)と歯科がある場合、または総合病院の各診療科は、それぞれ別の病院、診療所として計算です。

三、支給の手続きと時期
支給をうける場合は、領収書と印鑑をもって、役場国保係へ申請しなければなりません。支給時期は、診療を受けた月の翌々月以後になります。

四、入院と通院は、同一の病院、診療所でも別の計算です。

政治を学ぶ若者のついで
参加者募集
未来をにう青年男女を対象に政治、選挙に関する講話、討議を行い、主権者として政治的教養を高め、地域における明るい選挙推進の青年リーダーを養成するため、政治を学ぶ若者のついでが開催されますので参加してみませんか。

▽期日 八月二十九日から八月三十一日まで
▽場所 秋田県青年の家
▽参加対象 十八才から二十五才まで
▽参加費 無料

▽申込期日 八月十五日
※くわしいことは阿仁町選管におたずねください。

好評の歯医者さん

がんばる畠山先生



先に公報でお知らせしましたように新しく町立病院に赴任した、歯科の畠山先生は六月二日から診療を始めています。

先生は、東北歯科大学を

みんなで受診

胃の集団検診

さ。

みなさん、「胃ガン」は胃に何の異常を感じなくても静かに進行します。

特に四十代と云えば、職場では働き盛り、家庭では一家の大黒柱です。

この年代から「胃ガン」が急に増えていますので早期発見、早期治療のため検診を受けてみませんか。

◎料金 五百円(当日納付)
◎八月十日までに役場か支所の窓口申し込んでくだ

胃の検診日程表

月日	受付時間	検診場所
8月26日(火)	午前5時から午後7時まで	中村(鈴木憲庸宅前)
8月27日(水)	〃	大阿仁支所前
8月28日(木)	〃	大阿仁支所前
8月29日(金)	〃	笑内(中島礼宅前)

れました。
仙北郡南外村出身
昭和31年1月28日生

万一の火災に備えて

郡市移動消防講習会



七月十三日中学校グラウンドで炎天の中、指揮者の命令とともに制服姿の男達が一列に並び、消防団員の練習大会に備えて、消防団員

の教養向上と消防訓練札式ならびに消防操作法を習熟させることを目的に管内から約五〇〇人消防団員が参加して移動消防講習会が開かれたものです。

広域消防署阿仁分署の職員による模範演技のあと、講師の方々から真剣な表情で指導を受けていました。

こうした消防団員の日頃のたゆまない努力が万一の火災の時でも、消火活動に生かされることだと思えます。

善意

◎社会福祉協議会へ
○中村の鈴木義美さんから(亡父・竹治)二万円。
○比立内の松橋俊一郎さんから(亡父・徳治)二万円

献血に協力 ありがとう

七月八日に行なわれた愛の献血で、次の方々よりご協力いただきました。

菊地勝美、松橋利一郎、加賀谷直人、佐藤哲也、山田由夫、高木隆、松橋博子、田中昭三、吉田雅子、鈴木則子、松橋秀雄、吉田恵史、松橋琴美、高岡和子、斎藤ナミ、佐藤きみ子、西根博、鈴木久則、松橋盛七、上杉悦子、鈴木アエ、柳原博、

○萱草の上杉チヤさんから(亡母・ヌエ)二万円。
◎老人ホームへ
○秋田花王製品販売KKより殺虫剤三〇本、洗剤三・四K入三箱、四・五K入二箱。

上杉和子、斎藤栄子、梅村雄雄、松橋寛、佐々木忠雄、松岡幹生、天道昭康、工藤和義、門脇彦、長岐良治、藤田実、伊勢慶次郎、土佐忠雄、藤島清隆、福森秀臣、津田浩史、佐藤栄蔵、田口惣一、佐藤克好、伊東昇一、八森千賀子、吉田ヒロ子、松橋悦治、松橋和美、細井節子、吉田武美、種倉チヤ宮越貞範、加賀谷準夫、鈴木美千英、菊地信子、工藤公一、佐藤サダ、佐藤克己、工藤広明、田口博幸、菊地忠雄、成田忠男、木村謙一、杉淵清純、斎藤較一、安部基美、高橋正、伊藤鉄治、石田文雄、近藤唯義、小武海智子、柴田律子、山田美子、三浦毅、柴森憲作、近藤竹雄、石川文義、佐藤秀雄、村田光義、佐藤保

昭和55年度日赤募金集落別実績表

部落名	戸数	金額	部落名	戸数	金額
上小様	26	12,800	荒瀬川	7	2,800
下小様	17	9,000	荒瀬	137	68,000
小淵	30	15,000	三両	3	1,500
湯口内	35	11,600	萱草	42	22,100
長野町	33	16,500	根子	77	25,200
新町	45	18,300	伏影	13	6,000
真木	16	8,000	笑内	34	17,500
大町	65	35,300	幸屋渡	84	33,200
横町	34	18,200	幸屋	27	14,500
下新町	116	83,600	比立内	137	70,400
御蔵社宅	3	1,100	新中	25	12,500
御蔵住宅	6	1,800	戸島内	57	26,100
上新町	93	53,500	中村	33	14,700
畑町東裏	77	34,200	打当	36	18,000
畑町	47	25,500			
小沢	11	6,000	合計	1,366	682,900

ふるってご応募を

統計グラフコンクール

県民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資するため、統計グラフコンクールの作品を募集しています。

一、応募資格

○第一部 小学校三年生以下
の児童

○第二部 小学校四年生以上
の児童

○第三部 中学校の生徒

○第四部 高等学校以上の
学生、生徒

○第五部 一般

二、課題 自由

三、作品の規格

第三部以下の用紙の規格はB2判寸法、第四部以上はB1判の寸法とする。

四、締切日 九月九日
五、送り先 〒〇一〇 秋田県山王四丁目一番一
号 秋田県企画調整部
統計課

六、入選発表 九月中旬
くわしいことは、役場統計係におたずねください。

忘れていませんか
電話の配管

家の新築や改築のとき、電気や水道、ガスの配管は考えるが、意外と忘れがちなが電話の配管、建物が完成してからでは、壁に穴をあけたり、天井や床に電話線を露出させたりではせっかくの美観もだいなし、

そのうえ余分な補修をしなければならず、費用もかきむことになりす。

職業訓練短期大学校
学生募集

学生募集

宮城職業訓練短期大学校は、職業訓練法に基づき、五十五年四月雇用促進事業団が設置し開校された学校です。

東北唯一の二年生の工学系短期大学校で少数教育による青年の能力開発を目標とし、実践技術者の養成を目的としています。

なお、昭和五十六年度学生募集を次のとおり行ない

ます。

▽募集定員

生産機械科、金属成形科
電気科、建築科、塗装技
術科、各科二十名

▽応募資格

高等学校を卒業した者、
または卒業見込みの者

▽願書受付

五十六年二月十日から
二月二十八日まで

▽試験日

五十六年三月十日
くわしくは、左記あてに
郵送料(百四十円切手)同
封のうえ、「昭和五十六年
学生募集要項」をご請求く
ださい。

〒九八七-二二二 宮城県栗
原郡築館町字萩沢土橋二六
宮城県職業訓練短期大学校
学生課(電話〇二二八-二
二二四三)

花火による事故と
火災に注意

夏は花火のシーズンです
が、毎年各地でこの花火に
よる火災と事故が多くなっ
ています。

花火は、子どもたちの楽
しい遊びの一つですが、そ
の取扱いを間違えると火災
やヤケドなど大変な事故に
なります。

阿仁町は五月、六月と異
常に火災が発生しておりま
す。
楽しい花火遊びや事故防

止のためにも、次のことを
十分注意してください。

▽花火の入っている箱や注
意書をよく読むこと。

▽子どもだけでなく、大人
も一緒にすること。

▽風の強い日、火災に関す
る注意が出ているときは
やらない。

▽火が消えても決してのぞ
かない。

▽危険ですから、花火をほ
ぐしたり火薬をとり出し
たりしないこと。

▽使い終わったら花火やマッ

慶弔だより

◎こんにちは、赤ちゃん

速藤 勝敦 (勝 慶 長男) 下新町
春日 絵美 (千代之助 二女) 小 渕
田 口 郁美 (信男 長女) 根 子

◎結婚 おしあわせに

高橋 弘二 太田町
松橋 千秋 幸屋渡
長原 裕一 富山県
松橋じゅん子 比立内
野口 勝 東京都
松橋 弘子 比立内
佐藤 庸一 上野町
飛田トヨミ 茨城県
福田 俊一 新町
宮原 竹子 下新町
菅原美津雄 上野町
鈴木 和子 中 村
山田 武光 森吉町
桜田百合子 上野町

■おくりやみ申し上げます

上杉 ヌエ (83) 萱草
伊東 キク (79) 伏影

訂正：先月号の結婚欄で合
川町の松橋華子さんは、松
橋恭子さんの誤りでしたの
で訂正しておわびいたしま



子の燃えさしは、水の入
ったバケツなどに入れて
完全に消し、あとしまつ
はしっかりとすること。

肝臓が疲れすぎて
いませんか

保健婦だより

肝臓病にならないためには過労をさけること
です。そして肉、魚、豆類などのタンパク質を
多く食べることです。

大酒は大敵です。

最近疲れがひどくなった、こんな場合は、病
院に行って肝臓の検査をしてもらいましょう。
肝硬変にでもなり、黄疸になったり、お腹に
水がたまったりしてきたら、もうとりかえしが
つきません。

- ① 皮膚の色つやがない。
- ② 食欲がない。
- ③ はきけがする。
- ④ お腹がはる。
- ⑤ 便秘したり、下痢したりする。
- ⑥ 大酒をのまないとおちつかない。
- ⑦ 二日酔いがひどい。
- ⑧ 根気がなくなった。
- ⑨ 非常に疲れやすい。
- ⑩ 寒気がしたり、よく熱を出す。

(判定)

①～⑩までの症状は肝臓病だけの症状ではあ
りませんが、これらの症状に対して養生しても
良くならない場合は肝臓病の疑いがあります。